

令和3年第1回北海道議会定例会 冒頭先議 開催状況（経済部観光局）

開催年月日 令和3年2月25日
 質問者 日本共産党 菊地 葉子 議員
 答弁者 知事

質問要旨	答弁要旨
<p>三 観光誘客促進道民割引事業費について （菊地議員） どうみん割についてです。国の GoTo 事業がいつ再開できるか全く見通せない中で、およそ30億円もの多額の予算を繰り越す必要があるのでしょうか。感染拡大防止の取り組みからも、どうみん割の事業継続ではなく、事業者への直接支援で苦境から脱する手立てを打つことが必要と考えますがいかがですか。</p> <p>【再質】 三 観光誘客促進道民割引事業費について （菊地議員） 道はこれまでも GoTo トラベルやどうみん割の実施に固執し続けてきました。実施できるかも定かではないどうみん割に多額の予算を残しており、本来であれば他の事業に活用することが出来たにもかかわらず、人的移動を伴うどうみん割の早期停止を決断できなかったため、繰越明許費を設定せざるを得ない状況に追い込まれたと言わざるを得ません。 補正予算案で提案されている事業者支援の多くは、融資制度であり事業者への直接支援は極めて不十分です。地方創生臨時交付金を有効に活用するためにも、人的移動を伴うどうみん割を早期に停止し、感染防止対策や直接の事業者支援に予算措置すべきではなかったのか。その必要性を知事はどう考えているのか伺います。</p>	<p>（知事） どうみん割についてであります。感染症の長期化により、厳しい経営状況が続く観光関連団体の皆様から、道に対し、どうみん割の早期再開を求めるなど、観光関連産業の皆様への支援に関する嘆願書が提出されたところであります。 道としては、まず現在の集中対策期間内に徹底して感染を抑え込み、その後に感染拡大防止と、需要喚起など社会経済活動の両立を図っていくことが重要と考えております。どうみん割の再開についても、集中対策期間終了後に、同居者限定とするなど更なる感染防止対策に取り組むことを前提にするなど慎重に検討してまいりたいと考えております。 また、融資制度をはじめとする各種支援に加え、外出自粛等に伴い、厳しい経営状況にある全道の幅広い事業者の方々に対する支援についても、今定例会に提案させていただいたところであります。</p> <p>（知事） どうみん割についてであります。道では、道内の感染拡大の状況等を踏まえ、11月下旬からどうみん割の一時停止等を行っているが、観光関連事業者の皆様からは早期の再開が求められております。 このため、集中対策期間内で徹底して感染を抑え込んだ後に、さらなる感染防止対策を講じることなどを前提として、慎重に再開を検討することとし、必要な予算を計上したものであります。 また、外出自粛等に伴い、厳しい経営状況にある道内事業者の方々に対する感染防止対策や、直接支援についても、今定例会に提案させていただいているところでございます。</p>